

事務事業名	加茂総合センター庁舎管理事業	所属部	加茂総合センター	所属課	自治振興課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉	所属G	自治振興グループ	課長名	内田 幸治
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現	担当者名	小林 誠	電話番号	0854-49-8601 (内線) 4110
	目的: 対象	A)市民 B)行政機能 意 公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1 1:0 0:3 業名 項 目 中事業 中事 0:5 3:0 0:2 業名	市有施設等管理事業 庁舎管理事業	
	基本事業名	〈012〉業務と組織機構の効率化 意 効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
①庁舎及び設備等の管理委託(電気工作物、消防用設備、エレベーター保守等)や賃借(機器等)②夜間休日の庁舎警備委託③破損箇所等の修繕④光熱水費等の支払 ※事業費は委託料、警備委託料、賃借料、修繕工事、光熱水費等の支出。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) 庁舎及び設備等の保守委託、警備委託及び賃借契約。庁舎修繕。委託料、光熱水費等の支払い。					R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) 令和元年度同様。				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)					
ア	修繕・保守・警備契約数及び賃借契約件数	件	9	9	9	9					
イ	維持管理費	千円	13,651	14,598	13,793	12,810					
ウ											
エ											

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
	加茂総合センター庁舎施設 雲南市民	ア	施設数	棟	1	1	1	1
		イ	人口	人	37,794	37,012	36,248	37,004
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)		
施設及び設備を良好な状態で維持する。来庁者の利便性の向上を図るとともに快適な職場環境の整備を図る。	ア	市の行政サービスに納得している市民の割合	%	68.5	70.1	71.6	72.0	
	イ	庁舎に関する苦情件数	件	0	0	0	0	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
消耗品費等107千円、燃料費854千円、光熱水費1,788千円、修繕費664千円(冷温水発生機2号機修繕484千円、冷温水発生機油配管フレキ交換99千円ほか5件)、手数料154千円、委託料7,946千円(庁舎警備6,359千円、エレベーター保守628千円ほか6件)、使用料/賃借料171千円(下水道、CATV、電柱共架料、NHK放送受信料)、冷温水発生機冷却塔修繕工事1,870千円、備品購入費239千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	36	33	32	32
		一般財源	千円	13,615	14,565	13,761	12,810
		事業費計(A)	千円	13,651	14,598	13,793	12,842
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	400	400	400		
	人件費計(B)	千円	1,631	1,733	1,696		
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,282	16,331	15,489			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
当庁舎は建設後37年が経過し、老朽化により各所に修繕が必要な箇所が見られる。	施設及び設備を良好な状態で維持できるよう、修繕が必要な箇所は可能な限り対応し、来庁者の利便性の向上を図るとともに快適な職場環境の整備を図っている。	特になし。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →		
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由	当該施設は建設後37年が経過しており、各所において修繕が必要となっているが、今後も当庁舎が町内の住民窓口や行政機能の拠点となることを考えると、修繕対応しながら施設維持をしていく必要がある。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由	総合センターの維持管理を休止した場合、業務に支障をきたすとともに市民サービスの低下に繋がる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	類似事業としては本庁及び他5総合センターの庁舎管理事業が考えられるが、統廃合や連携については本庁と各総合センターとのあり方等を十分に検討する必要があるため、当面は現状維持となる。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	当該施設は建設後37年が経過しており、各所において修繕が必要となっている。また、省エネについて現在取り組んでおり、これ以上の維持管理費の削減は期待できない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	人件費の削減の余地はないと思われる。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由	受益者は主に一般市民であるため限定されていない。また、受益者負担を求めている。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
当該施設は建設後37年が経過しており、各所において修繕が必要となっているが、今後も当庁舎が町内の住民窓口や行政機能の拠点となることを考えると、修繕対応しながら施設維持をしていく必要がある。																						